

## IV. 地域別構想

# 1. 地域別構想の性格と構成

## (1) 地域別構想の性格と地域区分

全体構想が都市の将来像と各々の部門別方針を示しているのに対し、地域別構想は次のような性格を持っています。

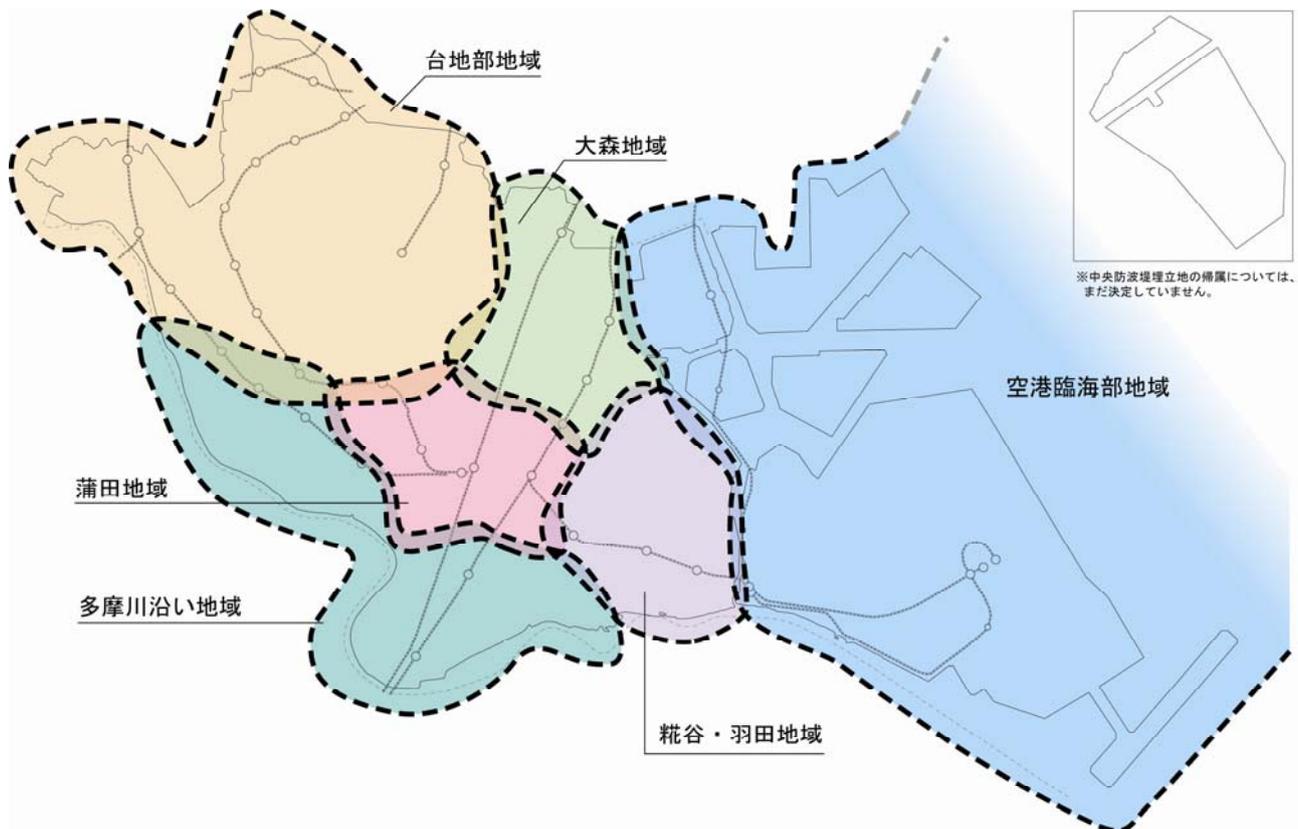
### ①区民により身近な地域を対象とした整備のあり方を示します。

土地利用の多様性を踏まえて区内を『6つの地域』に区分し、区民がより身近に感じることでできる課題に対しての方針を示すものです。

### ②全体構想の部門別方針を地域できめ細かく、かつ総合的に示します。

地域別方針は、全体構想で示した「土地利用方針、交通ネットワークの整備方針、水と緑の整備方針、安全・安心のまちづくり方針、ユニバーサルデザインのまちづくり方針、住宅・住環境の整備方針、産業のまちづくり方針、景観のまちづくり方針、環境のまちづくり方針」を地域においてきめ細かく、総合的に示すものです。

『6つの地域』区分

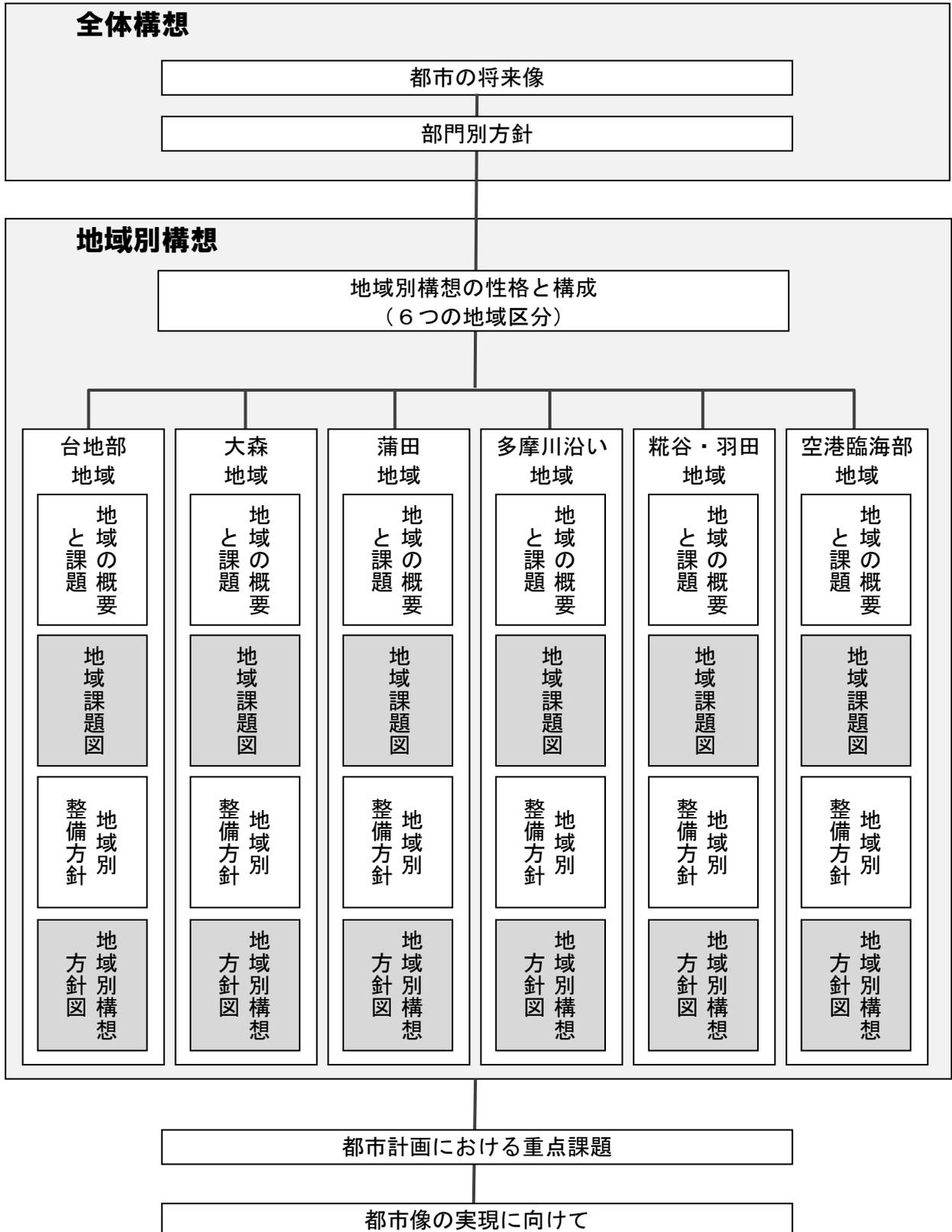


注：地域の区分は概ねの境を示したものです。このため、地域の境界は相互に重なって表現されています。

(2) 計画の構成

地域別構想は全体構想を受けて、次のような構成となっています。

地域別構想の構成



## 2. 6つの地域の方針

### 1) 台地部地域

台地部は、緑豊かでゆとりある良好な住宅地が広がる高台と、崖線、そして多摩川による変化に富んだ地形で構成されています。また、呑川、洗足池など地域のシンボルとなる自然環境、良好な住宅地や池上本門寺に代表される文化財等、多数の地域資源が残されています。一方で、建替えの進展に伴う敷地の細分化の影響による市街地の高密度化や緑の減少など、その良好な環境の維持・保全が課題となっています。

#### 1. 地域の概要と課題

##### (1) 拠点づくりの必要性

###### <地域の特性に応じた拠点づくり>

- 駅周辺を中心に形成されている地域及び地区の拠点は、日常生活に必要なサービスの提供を行うとともに、まちに魅力を与えています。今後も地区の特徴や区民のニーズを踏まえつつ、商業など求められる機能の充実を図ることが課題となっています。

##### (2) 市街地環境の改善

###### <良好な住環境の維持・保全>

- 台地部は、田園調布や千束、久が原、上池台などに代表される緑豊かで良好な環境をもつ住宅地が広がっています。近年では、敷地にゆとりのある戸建住宅のマンションなどへの転用や、敷地の細分化の進行など、住環境への影響が懸念されています。
- 良好な住環境を維持、保全し、市街地環境を改善していくためには、地元住民との意見交換が必要であり、その中から将来のまちづくりの方向性を定めていくことが求められています。

###### <住工混在市街地における環境の改善>

- 仲池上から上池台にかけては、住宅と工場の混在した市街地が形成されています。住環境に配慮しつつ、工場の操業環境を維持することが課題となっています。

##### (3) 交通体系の改善

###### <都市計画道路の整備>

- 補助幹線道路は、補助44号線などの一部の整備は進みましたが、未整備路線が多く残されているため、車両が市街地の中を通過し、住環境の悪化や交通事故などの危険性を生み出しています。区民が区内の生活道路や各地域間を安全で快適に行き来できるよう、補助幹線道路の整備推進が課題となっています。

###### <公共交通の改善>

- 台地部では、西部を中心に鉄道が6路線整備され、区民の移動手段として利用されています。東部は、蒲田・大森方面や東西方向を中心とした地域内の移動手段

としてバス網が発達していますが、高齢者や障がい者等に対応したコミュニティバス等の導入について検討を進めることが課題となっています。

- 区民の重要な移動手段となる公共交通は、乗継ぎが多い台地部から空港臨海部方面を中心に円滑で利便性の高い交通ネットワークの整備が課題となっています。
- 区内から都内西部地域へは都心経由で迂回する必要があるため、都内周辺部における環状方向の交通ネットワークの整備が求められています。

#### (4) 快適な環境づくりの課題

##### <自然環境を活かした空間の確保>

- 多摩川や洗足池など、水と緑の残された場所では、水質も改善されつつあり、良好な自然環境を維持しています。また、田園調布せせらぎ公園など、緑豊かな公園の整備が進み、地域住民の憩いの場となっています。こうした水辺、緑地、公園は、自然を感じられる環境を形成する重要な資源として、保全・活用することが課題となっています。
- かつて浸水の被害をもたらした呑川などの河川は、水害を防止するための河川整備を優先しつつも、河川沿いの側道を活用した親しみある緑豊かな緑道の整備を進めることが課題となっています。

##### <河川敷利用の拡充>

- 多摩川の河川敷は、周辺の丘陵斜面地や市街地の景観と一体となって特徴的な景観を構成し、広場や運動場は地域の貴重なレクリエーションの場となっています。現在は、運動施設を中心とした整備がされていますが、多様なニーズをもつ人々が楽しみ・憩える場として環境の充実が求められています。

##### <都市農地の保全と活用>

- 地域内に残る都市農地は、宅地化の進展などにより減少傾向にあります。農地は地域の貴重な緑のひとつとして、保全と活用の方向付けが必要です。

##### <良好な住環境と自然と文化を活かした景観づくり>

- 住宅地の広がる高台から崖線を経て多摩川へと続く変化に富んだ地形や、呑川、洗足池など地域の自然環境といった良好な資源を活かした景観づくりが課題です。
- 田園調布などでは、地元住民が主体となり良好な街並みづくりを進めている地区があります。こうした地区活動を地域全体に広げ、地区特性を活かした街並みづくりを促進することが課題です。
- 歴史的建造物が集積している池上本門寺周辺の地域は、建造物とその周辺が一体となった街並みづくりが課題です。

##### <観光資源としての活用>

- 台地部は、洗足池や多摩川台公園など、水と緑豊かな自然環境に恵まれています。これらの環境を観光資源として活用し、区民はもとより、広く各地から人々が訪れる憩いの空間づくりが課題となっています。

(5)安全・安心のまちづくりの課題

＜災害に強い市街地環境への改善＞

- 台地部は、起伏に富んだ急傾斜地を多く持つ地形で構成されており、崖地の安全対策が課題となっています。
- 地球温暖化の進行や市街地の都市化の進展により都市型集中豪雨が多発し、それによる道路の冠水や、宅地内の浸水等への対策が課題となっています。



## 2. 地域別整備方針

まちの将来像：

緑豊かで良好な住環境をもつまち

### (1) 魅力あるまちの拠点の形成

#### <魅力ある地域のまちづくり拠点の形成>

- 大岡山駅、雪が谷大塚駅周辺は、ユニバーサルデザインの視点で空間づくりを進め、駅利用者の快適性の向上と安心して買物ができる商店街の発展を図ることにより、地域のまちづくり拠点を形成します。
- 池上駅周辺は、誰もが楽しく快適に過ごせる空間づくりや、歴史的建造物が集積した街並みを活かした都市基盤の整備を進めることにより、地域のまちづくり拠点の形成をめざします。

#### <地区に密着した生活拠点の形成>

- 田園調布駅、御嶽山駅などの駅周辺は、買物通りの整備や自転車駐車場の設置など、周辺の住宅地の環境と調和した商店街の整備により、地区に密着した生活拠点の形成を図ります。

### (2) 地域の特徴を活かした市街地の形成

#### <住環境保全型市街地>

- 道路や街並みが計画的に造られた、緑豊かな低層住宅地の優れた住環境を維持・保全します。地区住民の意向を尊重した住環境を確保するため、建物の高さ制限や敷地規模、敷地内緑化などのルールづくり等の、地区のまちづくり活動に支援を行います。
- 幹線道路沿いや駅周辺など、交通の便の優れている住宅地は、周辺の低層住宅地の住環境に配慮しながら緑や公園、広場などのオープンスペースを備えた中層住宅地の形成を図ります。

#### <住工調和型市街地>

- 仲池上から上池台にかけての住宅と工場が混在する市街地は、建物の更新時にあわせて、工場と住宅との相互の敷地利用の工夫や緑化などにより、住工が共存・調和した市街地の形成を図ります。

#### <幹線道路沿い市街地>

- 幹線道路の沿道は、道路の騒音や後背地の住環境に配慮するとともに、災害時の避難路や延焼遮断帯の確保などを進め、幹線道路沿いにふさわしい市街地の形成を図ります。

#### <環境維持向上型市街地>

- 現在の市街地環境を維持しつつ、道路等の公共施設の整備による住環境の向上を図ります。

### (3) 交通体系の整備

#### <安全で快適なみちづくり>

- 幹線道路を補完する補助幹線道路の整備を促進し、車両交通の円滑化を図ります。
- 道路の拡幅整備にあわせて、高齢者や障がい者、子育て中の親など誰もが安心して利用できる歩行者空間や自転車走行空間を確保し、植栽などにも配慮しながら、安全で快適なみちづくりを推進していきます。

#### <東西方向の交通ネットワークの形成>

- 地域間や区内各方面への利便性向上のため、バスサービス等の更なる充実を図ります。
- 新たな臨海部の拠点や羽田空港へのアクセス強化のため、新空港線「蒲蒲線」を実現し、区内の東西方向の公共交通ネットワークの改善を図ります。
- 区内から都内西部、北部地域を結ぶエイトライナーの整備を促進し、区外他都市への交通利便性の向上を図ります。

### (4) 水と緑の潤いのある環境づくり

#### <多摩川を活用したまちづくり>

- 大田区のシンボルとなっている多摩川沿いは、呑川や旧六郷用水、水と緑の散策路と河川敷のレクリエーション施設を結び、歩行者のために水と緑、歴史文化の一体的なネットワークづくりを行います。
- 堤防沿いの並木の植栽などによって、河川空間を活かした水と緑のネットワークづくりを推進し、潤いと憩いの場の形成を図ります。

#### <多様化する要望に対応した河川敷の利用>

- 国の多摩川河川環境管理計画に基づき、多摩川の自然を損なわないように配慮しながら、区民にふれあいの場を提供する貴重なオープンスペースとして河川敷を活用していきます。
- 区民の要望の多様化やユニバーサルデザインへの配慮など、散策や親水空間づくりについて、よりの確に対応するように国に要望していきます。

#### <水と緑のネットワークの形成>

- 国分寺崖線や南北崖線、洗足池公園、小池公園、田園調布せせらぎ公園、多摩川台公園などの貴重な緑環境を、子ども達が自然とふれあい、学習する場として積極的に保全を図ります。
- 呑川緑道の整備を促進し、区民が呑川に親しめる、潤いのある水と緑のネットワークの形成を図ります。

#### <貴重な緑の保全>

- 残された貴重な緑は、地域の意向を尊重しつつ、良好な住宅地にふさわしい緑の保全を図ります。
- 散在する生産緑地地区や、残された農地の緑地機能の保全と活用方策を検討します。

**(5)安全・安心のまちづくりの推進****<災害に強いまちづくり>**

- 第二京浜国道、中原街道、環状7号線、環状8号線の沿道の不燃化・耐震化を推進し、延焼遮断帯、避難路としての機能を確保します。
- 多摩川沿いは、地震や洪水に対する安全性の向上を図るために、周辺市街地の整備とあわせた総合的な治水対策を推進します。
- 局所的集中豪雨や台風等による強雨時の、下水道へ流入する雨水等の軽減を図るために、都市型水害対策を推進します。
- 斜面地にある崖地の実態を踏まえ、助成制度の活用などにより、安全対策を推進します。

**(6)産業のまちづくり****<地域資源を活かした観光のまちづくり>**

- 多摩川、洗足池などの自然環境豊かなスポットや、池上本門寺、亀甲山古墳、馬込文士村などの特徴ある歴史・文化資源などについて、観光資源としての可能性を高めるため、鉄道会社やバス会社との協力体制のもとで、テーマ性のある地域巡りやサイン整備など、回遊性の向上を検討します。

**(7)景観づくり****<地域特性と資源を活かした景観づくり>**

- 田園調布など、道路や街並みが計画的に作られた落ち着きと潤いのある緑豊かな住宅地は、住民等との連携により、街並みの維持・保全に努めます。
- 国分寺崖線周辺は、広域的に連続する緑や湧水などの自然を景観資源として保全するとともに、その周辺についても自然の潤いを感じられるような街並みづくりを進めます。
- 多摩川は、関係機関との協力により、良好な河川景観を維持・保全します。
- 多摩川沿いの市街地は、河川景観と調和した潤いのある街並みづくりを進めます。
- 台地部の南側を縁取る斜面地周辺は、残された緑地等の保全を図りつつ、周辺と調和した良好な景観づくりを進めます。
- 呑川などの河川や旧六郷用水などのかつての水路沿いは、緑道整備などにより、市街地の中で自然を感じられる潤いと憩いの空間としての活用を努めます。
- 池上本門寺周辺の、歴史的建造物が集積する地域は、住民等との協力により、歴史を感じられる街並みづくりを進めるとともに、歴史的建造物の保存・修復について検討します。

**(8)地球環境にやさしいまちづくり****<低炭素社会の実現>**

- 低層住宅地は、再生可能エネルギーの活用や緑化の推進により、環境負荷の軽減に配慮した都市空間の形成を図ります。

# 台地部地域 地域別構想方針図



凡例

- 地域のまちづくり拠点
- 地区の生活拠点
- 水と緑の拠点
- スポーツ・レクリエーションの拠点
- 歴史・文化の拠点
- 水と緑のネットワーク
- 幹線道路
- 補助幹線道路
- 公共交通（鉄道）
- エイトライナー構想
- 住環境保全型市街地
- 環境維持向上型市街地
- 住工調和型市街地
- 幹線道路沿い市街地
- 主な公園、緑地
- 防災性の向上を図る地区



## 2) 大森地域

にぎわいと活気のある大森駅周辺の商業業務地のほか、山王をはじめとする住宅地、更に大森西などの町工場などが集中した工業地など、いろいろな土地利用が集まってひとつのまちがつけられています。集客力のある大森駅周辺は、羽田空港の再拡張・国際化を視野に入れたまちづくりを進めることが求められています。また、大森貝塚や馬込文士村などの歴史的、文化的な要素もこの地域の大きな特色として、まちの魅力づくりに活かしていくことが期待できます。

### 1. 地域の概要と課題

#### (1) 拠点づくりの必要性

##### <大森駅前の魅力ある都市機能の強化>

- 大森駅前を通る池上通りや馬込から臨海部を結ぶ環状7号線等の交通渋滞は慢性的になっています。区を中心拠点である商業業務地にふさわしい、魅力あるまちにするために、駅周辺の都市機能の強化や交通基盤の整備が求められています。
- 大森駅周辺には、比較的規模の大きな商業施設を中心に商店街や各種サービス施設が立地しています。また、マンションの増加などにより居住人口も増え、近年では商業・住居が近接する市街地としての性格が強まっています。
- 羽田空港の再拡張・国際化を視野に入れるとともに、ユニバーサルデザインの視点に立ち、駅を中心とする地区整備を進めることで、地域の活性化に寄与するまちづくりが求められています。
- 大森駅周辺には馬込文士村や大森貝塚などがあり、大森の特徴ある歴史的、文化的要素としての活用が求められています。

##### <地域の特性に応じた拠点づくり>

- 平和島駅をはじめとする京浜急行線駅周辺の商業地は、地域の日常生活におけるサービスの提供やにぎわいの場として利用されています。更に魅力あるまちをめざして、それぞれの特徴を活かした地域のまちづくり拠点として、また、周辺地区も含めた生活拠点として、商業地の整備を図ることが課題となっています。

#### (2) 市街地環境の改善

##### <住宅と商業が隣接した地区の調和>

- 鉄道の西側では、商店街を中心とした商業地域と閑静な住宅地が隣接している地域があり、相互に影響を与えています。この地域では、商業地域としての活性化との調和を図りながら、良好な住環境を維持・保全していくことが求められています。

##### <良好な住環境の維持・保全>

- 山王地区は、丘陵地に広がる緑豊かで良好な環境を持つ住宅地です。しかし、道路網が十分に整備されないまま市街地が形成された上、マンションの立地や敷地の細分化が進むなど、住環境への影響が懸念されています。

- 良好な住環境を維持、保全し、市街地環境を改善していくためには、地域の意向を尊重しつつ、将来のまちづくりの方向性を定めていくことが求められています。

#### ＜住工混在市街地における環境の改善＞

- 大森西や大森東などの準工業地域では、住宅と工場が混在した市街地が形成されています。住環境に配慮しつつ、工場の操業環境を維持することが課題となっています。

### (3) 交通体系の改善

#### ＜都市計画道路の整備＞

- 幹線道路の一部や、補助幹線道路の整備が遅れていることから、交通渋滞が発生し地域内の円滑な移動が困難となっています。特に、大森駅の西側を通る補助28号線（池上通り）の交通混雑が激しく、整備の要請が高くなっています。都市計画道路の早期整備が課題となっています。
- 鉄道を境に地域が分断された状態にあり、地域の一体的な発展を阻害する要因となっています。東西の連絡性の強化を考慮したまちづくりが求められています。

#### ＜京浜急行線の連続立体交差事業とあわせた道路の改善＞

- 大森町駅、梅屋敷駅周辺は、道路網が不足しているため、駅へのアクセスや駅周辺での車や人の移動の利便性の向上、更に鉄道による地域の分断が課題となっています。鉄道の連続立体交差事業にあわせた駅周辺の道路の改善が進められています。

#### ＜公共交通体系の改善＞

- 大森駅には、多くのバス系統が集まっていますが、相互乗換えに不便なことが問題であり、大森駅の交通ターミナル機能などの改善が課題となっています。
- 隣接する空港臨海部地域への公共交通はバスが中心となっていますが、昼間の時間帯の本数が少ないなどの問題があります。

#### ＜駐輪対策の必要性＞

- 大森駅周辺では、自転車の放置が多く、歩行者の安全で快適な通行の妨げとなっています。自転車の利用実態に応じた駐輪対策が課題となっています。

### (4) 快適な環境づくりの課題

#### ＜自然と歴史・文化を活かした住環境の向上＞

- 大森貝塚や馬込文士村などの歴史的、文化的要素や、内川、呑川、運河などの貴重な水辺がたくさん残されています。これらの資源を地域の財産として保全するとともに、景観づくりや観光まちづくりへの活用が課題となっています。
- 丘陵地などの緑は徐々に失われており、残された貴重な緑地の保全と新たな緑の創出が課題となっています。

## (5)安全・安心のまちづくりの課題

### <災害に強い市街地環境の改善>

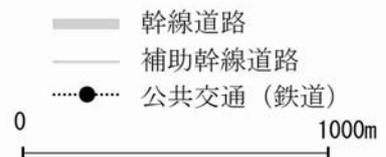
- この地域の南東部は、密集した市街地が広がり、工場と住宅の混在やオープンスペースの不足など災害に対して脆弱な市街地構造をもっていることから、防災性に配慮した市街地環境の改善が課題となっています。
- 大森・北糀谷地区で実施した木造住宅密集地域整備促進事業や、環状7号線沿道での都市防災不燃化促進事業により、地域の防災性・安全性は向上しつつあります。防災性・安全性の向上を図るため、引続き、建物の不燃化・耐震化促進などのきめ細やかな対策への取組が課題となっています。
- 大森中一丁目～三丁目地区は、東京都の防災都市づくり推進計画で重点整備地域に指定され、都市基盤の整備を基本とした災害に強いまちづくりの推進が課題となっています。

# 大森地域 地域課題図



## 凡 例

- 地域の特性に応じた拠点づくりが求められる地区
- 良好な住環境の維持・保全が求められる区域
- 環境の維持向上が求められる区域
- 住工調和のあり方が課題となっている区域
- 都市機能の強化が求められる区域
- 幹線道路沿道市街地の整備が必要な区域
- 産業の維持向上が求められる区域
- 広域的都市施設
- 主な公園、緑地
- 防災性に配慮した市街地環境の改善が求められる区域
- 重点課題の地区（5章参照）



## 2. 地域別整備方針

まちの将来像：

住環境と産業が調和した、歴史と文化のかおりたよう中心拠点としてのまち

### (1) 魅力あるまちづくり拠点の形成

#### <大森駅周辺の魅力ある中心拠点の形成>

- 大森駅周辺は、中心拠点として商業業務や情報、交通ターミナル機能の強化・充実を促進しつつ、住商共存に配慮した市街地環境の充実、ユニバーサルデザインの視点で空間づくりを進めます。
- 大森北一丁目の区有地に整備する複合施設は、にぎわいと交流の結節点として活用します。

#### <魅力ある地域のまちづくり拠点の形成>

- 臨海部との交通結節点としての役割を担う平和島駅周辺は、ユニバーサルデザインの視点で都市空間づくりを進め、安心して買物ができる商業地の形成を図ることにより、地域のまちづくり拠点の形成をめざします。

#### <地区に密着した生活拠点の形成>

- 大森町駅、梅屋敷駅周辺は、京浜急行線の連続立体交差事業とあわせて道路整備を推進し、生活に密着した生活拠点の形成を図ります。

### (2) 地域の特徴を活かした市街地の形成

#### <中心商業業務市街地>

- 大森駅周辺は、大田区の中心拠点のひとつとして、商業業務機能の集積を活かした中心商業業務市街地の形成を図ります。
- 大森駅西口駅前周辺では、周辺の低層住宅地の住環境に配慮しながら、都市基盤の整備と連携して複合的土地利用と、土地の高度利用を図るために、再開発を進めます。

#### <住環境保全型市街地>

- 地区住民の意向を尊重した住環境を確保するため、建物の高さ制限や敷地規模、敷地内緑化などのルールづくり等の、地区のまちづくり活動に支援を行います。

#### <住工調和型市街地>

- 住宅と工場が調和したまちをめざして、住工混在状況に応じたきめ細やかな土地利用の推進を図ります。
- 街区ごとに住宅や工場のまとまりが見られる大森西周辺などの地区では、産業関連と生活関連の交通に配慮して、個々の街区に必要な機能や環境を維持・保全することにより両街区の共存を図ります。
- 街区の中で住宅と工場が密集して混在している地区では、共同建替えなどを誘導し、街区内で住宅と工場の適切な再配置を促進します。

- 建物を用途ごとにまとめることや、住宅の防音・防振対策と工場周辺の緑化、荷さばきスペースの共同化などの工場敷地の有効活用により、住環境と工場の操業環境の共存を図ります。

#### <幹線道路沿い市街地>

- 幹線道路の沿道は、交通の利便性を活かした産業系施設の立地、幹線道路の騒音や振動に配慮した環境づくり、災害時の避難路や延焼遮断帯の確保などを進め、幹線道路沿いにふさわしい市街地の形成を図ります。

#### <環境維持向上型市街地>

- 現在の市街地環境を維持しつつ、道路等の公共施設の整備による住環境の向上を図ります。

#### <防災性の向上を図る地区>

- 木造住宅の密集した市街地は、住環境と防災面に配慮して、建物の建替えや共同化にあわせた道路整備、オープンスペースの確保、空地の緑化、近隣と調和した土地の高度利用の促進により緑と潤いのある都市づくりを推進します。

### (3) 交通体系の整備

#### <道路ネットワークの形成>

- 交通混雑の激しい補助28号線（池上通り）やJR線の東西を結ぶ道路の整備を促進し、円滑な交通を確保するとともに、大森駅の周辺の一体性をもった道路ネットワークの形成を図ります。
- 幹線道路を補完する補助34号線の整備を促進し、車両交通の円滑化を図ります。

#### <連続立体交差事業に伴う道路整備の推進>

- 大森町駅や梅屋敷駅周辺は、鉄道の連続立体交差事業とあわせた駅周辺の道路整備により、生活道路の連続性を確保し、交通利便性の向上や災害時の安全性の確保を図ります。

#### <公共交通体系の充実>

- 既存の路線バスの接続性の向上や、交通結節点の機能充実を図るために、大森駅周辺のまちづくりにあわせて、駅前広場の再整備を進めます。
- 空・海への玄関口という特徴を活かし、内陸部と空港臨海部を結ぶ交通の利便性の向上を図るために、バスサービスの充実や大森地域における新しい公共交通システムの導入推進などにより、東西方向等の公共交通ネットワークの充実をめざします。

#### <自転車駐車場の整備>

- 大森駅周辺では、放置自転車を解消し良好な歩行空間を確保するために、自転車駐車場の整備を推進します。

**(4)水と緑の潤いのある環境づくり****<歴史や文化を活かしたまちづくり>**

- 大森貝塚や馬込文士村などの歴史・文化資源を保全し、これらの地域資源と公園や駅などの主要な施設とを結ぶ散策路の整備など、地域の特徴を活かしたまちづくりを進めます。

**<水と緑のネットワークの形成>**

- 内川は、河川の環境保全と活用のあり方に十分留意しながら、貴重な水と緑のふれあいの場として活かしていきます。
- 子どもたちが自然とふれあい学習する場として、平和の森公園や大森ふるさとの浜辺公園、（仮称）中央五丁目緑地などの貴重な緑環境の保全を積極的に図ります。
- 内川沿いの桜のプロムナードや呑川緑道の整備とともに、自然環境を活かした水と緑の散策路の整備を推進し、ほかの水辺や公園などと結ぶ潤いある水と緑のネットワークの形成を図ります。

**<貴重な緑の保全と創出>**

- 山王地区に残された貴重な緑は、地域の意向を尊重しつつ、良好な住宅地にふさわしい緑の保全を図ります。
- 土地利用の更新を行う地区などでは、オープンスペースの確保により緑の創出を図ります。

**(5)安全・安心のまちづくりの推進****<災害に強いまちづくり>**

- 環状7号線、第一京浜国道、産業道路の沿道の不燃化・耐震化を推進し、延焼遮断帯、避難路としての機能を確保します。
- 東京都の防災都市づくり推進計画で重点整備地域に指定された大森中一丁目～三丁目地区は、防災街区整備地区計画を導入し、都市基盤整備とあわせた防災活動拠点の整備や避難路の確保などを推進します。区の先駆的な防災まちづくりのモデルケースとなるよう事業を展開し、木造密集地域の防災性の向上を図ります。
- 水害に強いまちをめざして、内川周辺の浸水対策、雨水貯留施設や浸透施設の整備などの総合的な治水対策を推進します。
- 斜面地にある崖地の実態を踏まえ、助成制度の活用などにより、安全対策を推進します。

**(6)産業のまちづくり****<地域観光の拠点づくり>**

- 国際都市おおたを意識したサイン整備を進め、地域の観光資源が持つ集客力を地元商店街への誘客へつなげ、地域固有の歴史や文化を活かした観光資源として活用を図ります。

## (7) 景観づくり

### <地域特性と資源を活かした景観づくり>

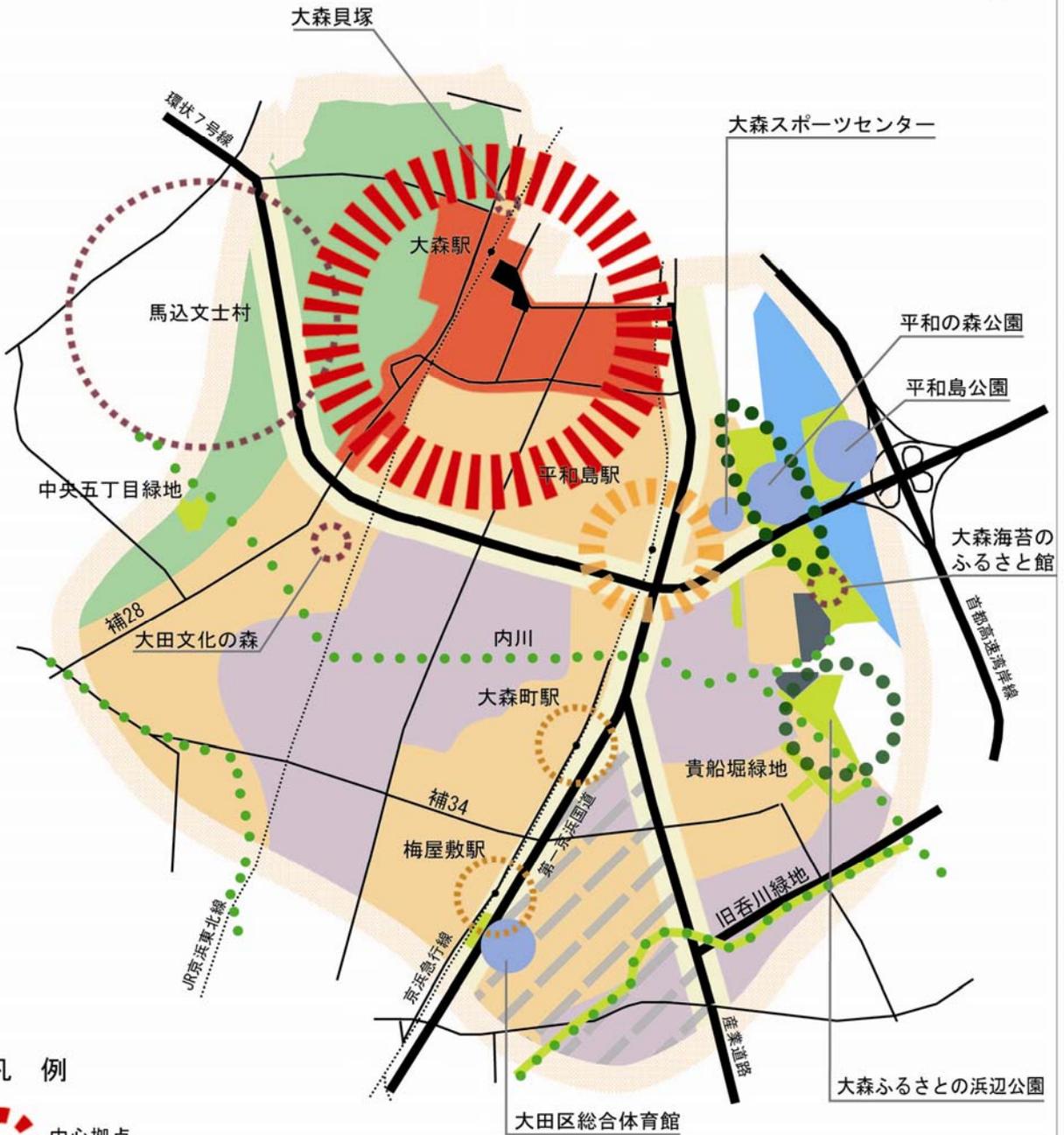
- 大森駅周辺は、中心拠点としてにぎわいと活力の感じられる街並みづくりを進めます。
- 馬込文士村や美原通り(旧東海道)など、地域固有の歴史や文化を活かした景観の形成をめざします。
- 大森地域は、かつて海が地域の暮らしと密接だった歴史的背景を踏まえ、運河周辺での海と文化を活かした景観づくりを検討します。

## (8) 地球環境にやさしいまちづくり

### <低炭素社会の実現>

- 大森駅周辺の都市機能の再更新にあわせて、地域冷暖房等の面的利用を図るとともに、未利用エネルギー・再生可能エネルギーを活用することにより、環境負荷の軽減に配慮した都市空間の形成を図ります。
- 都市開発や大規模建築物の建設において、環境負荷の低減などへの配慮や、環境性能に優れた建築物への誘導を図ります。

# 大森地域 地域別構想方針図



- |  |                  |  |            |
|--|------------------|--|------------|
|  | 中心拠点             |  | 住環境保全型市街地  |
|  | 地域のまちづくり拠点       |  | 環境維持向上型市街地 |
|  | 地区の生活拠点          |  | 住工調和型市街地   |
|  | 水と緑の拠点           |  | 中心商業業務市街地  |
|  | スポーツ・レクリエーションの拠点 |  | 幹線道路沿い市街地  |
|  | 歴史・文化の拠点         |  | 産業活力展開型市街地 |
|  | 水と緑のネットワーク       |  | 広域的都市施設    |
|  | 幹線道路             |  | 主な公園、緑地    |
|  | 補助幹線道路           |  | 密集改善型市街地   |
|  | 公共交通（鉄道）         |  |            |



### 3) 蒲田地域

蒲田は大森とともに、中心的な商業業務地として発展してきました。これからは、羽田空港の再拡張・国際化にあわせて、蒲田駅を中心とする地区の再整備と空港に近接する利点を活かした取組によるまちの発展が期待されます。

#### 1. 地域の概要と課題

##### (1) 拠点づくりの必要性

###### <中心拠点機能とまちの魅力の向上>

- JR 蒲田駅及び京急蒲田駅周辺は、JR 線により東側と西側が分断されているために回遊性に欠け、また、JR 蒲田駅と京急蒲田駅の乖離、駅利用者等の増加に対応できていない空間の狭い駅前広場など、中心拠点としての機能が不足しています。羽田空港に近接する立地を活かしながら、大田区の中心拠点として、更に魅力のあるまちをめざすことが課題となっています。
- JR 蒲田駅及び京急蒲田駅周辺は、大田区の商業業務の中心機能を担う拠点です。ゆとりある都市空間や誰にとっても利便性の高い都市基盤整備、潤いと安らぎを感じられる空間づくり、このほか、商業や観光で活気あふれるまちづくりへの取組で、中心拠点としての向上を図ることが課題となっています。

###### <地域の特性に応じた拠点づくり>

- 蓮沼駅、矢口渡駅、梅屋敷駅などの駅周辺の商業地は、それぞれの地域の特徴にあわせた地区の生活拠点として育成していくことが課題となっています。
- 京急蒲田駅周辺は、鉄道の連続立体交差事業とあわせて市街地の更新を図ることにより、JR 蒲田駅周辺との一体的な中心拠点を形成することが課題となっています。

##### (2) 市街地環境の改善

###### <建物が密集し、用途が混在した市街地の改善>

- 土地区画整理事業の行われた JR 蒲田駅及び京急蒲田駅周辺を除いて、広範囲に密集した市街地が形成されています。西蒲田・蒲田地区や蒲田二・三丁目などは、終了した木造住宅密集地域整備促進事業により改善されつつありますが、引続き、道路などの基盤施設の不足や建詰まりなど、住環境の改善が課題となっています。
- 住宅と工場などが混在した住工混在市街地が形成されている地域では、住環境の悪化の防止や工場の操業環境の確保が課題となっています。

##### (3) 交通体系の改善

###### <立体交差事業による交通渋滞の改善>

- JR 蒲田駅及び京急蒲田駅周辺では、周辺の幹線道路の交通渋滞を迂回する通過交通による交通混雑が発生しており、鉄道や道路の立体交差事業の完成により交通渋滞の緩和が期待されます。

### ＜公共交通体系の改善＞

- 蒲田地域は羽田空港に近いものの、公共交通による空港へのアクセスは、京急蒲田駅からの京浜急行空港線か、あるいは JR 蒲田駅からのバスに限られており、利便性の向上が課題となっています。
- JR 蒲田駅と京急蒲田駅で鉄道の東西交通軸が分断されており、より利便性を高める必要があります。

### ＜駐輪・駐車対策＞

- 交通ターミナルとして多くの車が集中する JR 蒲田駅周辺では、区営アロマ地下駐車場や区役所本庁舎駐車場などが整備され、路上駐車の解消が図られていますが、十分ではありません。国際化をめざす大田区の中心拠点として、将来予測を踏まえた円滑な交通流動の確保が課題となっています。
- JR 蒲田駅前には自転車の放置が多く、歩行者などの安全で快適な交通の妨げとなっています。自転車の利用実態に応じた駐輪対策が課題となっています。

### ＜駅周辺の交通結節機能の改善＞

- JR 蒲田駅前広場は、鉄道を利用する歩行者の増加やバス、タクシー、搬入車などの乗入れで混雑し、交通結節点としての機能が不足しています。駅東西の連絡性の強化や駅前広場の機能向上を図ることが課題となっています。
- 京急蒲田駅周辺は、駅前広場がないことやアクセス道路の不備など、交通結節点としての機能が不足しています。鉄道の連続立体交差事業とあわせて、街路事業や市街地再開発事業を推進し、東西駅前広場やアクセス道路等を整備し、交通結節点としての機能強化を図ることが課題となっています。

## (4) 快適な環境づくりの課題

### ＜水と緑の保全と創出＞

- 公園や緑地の整備、街路樹植栽の実施、再開発や建物の建替え時の緑化など、緑のある環境づくりに努めていますが、十分ではありません。都市部の潤い空間確保には更なる緑化が不可欠であり、呑川の親水性を向上させるなど、残された貴重な水と緑の保全・活用や水質改善が課題となっています。

### ＜蒲田駅周辺の景観形成＞

- 来街者の多い JR 蒲田駅及び京急蒲田駅周辺は、大田区の顔として、統一感、にぎわい、美しさのある景観づくりが求められ、居住者にとっても快適な駅周辺の景観を形成していくことが課題となっています。

### ＜地域資源を活かしたまちの魅力の向上＞

- JR 蒲田駅及び京急蒲田駅周辺の地域は、区内最大の商業集積地であり、安くて美味しいと評判の飲食店が点在しているとともに、黒湯温泉、旧松竹撮影所跡をはじめとした歴史資源も有しています。このことから、羽田空港からの誘客の中心的役割が期待されています。まちの魅力向上のため、地域内の回遊性の確保、観光資源の発信力の強化が課題となっています。

(5)安全・安心のまちづくりの課題

＜災害に強い市街地環境の改善＞

- 蒲田地域は、建物が密集し、災害時に不安のある市街地が形成されていることから、防災性に配慮した市街地環境の改善が課題となっています。
- 西蒲田・蒲田地区や蒲田二・三丁目地区は、終了した木造住宅密集地域整備促進事業により改善されつつありますが、引続き、改善に向けた取組が課題となります。
- 南蒲田一丁目、東蒲田一丁目などを含む大森中地区は、東京都の防災都市づくり推進計画で重点整備地域に指定され、都市基盤の整備を基本とした災害に強いまちづくりの推進が課題となっています。

# 蒲田地域 地域課題図



## 凡 例

- 地域の特性に応じた拠点づくりが求められる地区
- 環境の維持向上が求められる区域
- 住工調和のあり方が課題となっている区域
- 都市機能の強化が求められる区域
- 幹線道路沿道市街地の整備が必要な区域
- 主な公園、緑地
- 防災性に配慮した市街地環境の改善が求められる区域
- 重点課題の地区（5章参照）

- 幹線道路
- 補助幹線道路
- 公共交通（鉄道）



## 2. 地域別整備方針

まちの将来像：

羽田空港の近接性を活かしたにぎわいのある商業業務の拠点としてのまち

### (1) 魅力あるまちづくり拠点の形成

#### <蒲田駅周辺の魅力ある中心拠点の形成>

- JR 蒲田駅や京急蒲田駅周辺は、「にぎわいあふれる多文化都市、誰もが安心して気持ちよく過ごせる人にやさしい蒲田」の実現をめざしたまちづくりを推進します。

#### <地区に密着した生活拠点の形成>

- 梅屋敷駅、蓮沼駅、矢口渡駅などの鉄道駅周辺は、それぞれの駅や周辺の特徴を踏まえ、商店街の活性化を促進するなど、地区に密着した生活拠点の形成を図ります。

### (2) 地域の特徴を活かした市街地の形成

#### <中心商業業務市街地>

- JR 蒲田駅周辺は、大田区の中心拠点のひとつであり、羽田空港と近接することから、居住者や来街者でにぎわうまちとして、商業業務機能の集積を促進するとともに、駅東西自由通路の設置や駅前広場の再整備などの空間づくりを進めます。
- JR・東急蒲田駅～京急蒲田駅間を中心とした、周辺商業地間の回遊性の向上を図り、JR 蒲田駅周辺と京急蒲田駅周辺の一体性を確保します。
- 商業業務機能と良質な都市型住宅が調和したまちの形成をめざし、建物の共同化や建替えの促進を図ります。

#### <住工調和型市街地>

- 住宅と工場が混在する市街地は、地域の協力を得ながら、住宅と工場の共存するまちづくりを推進します。
- 街区ごとに住宅や工場のまとまりが見られる地区は、産業関連と生活関連の交通に配慮して、個々の街区に必要な機能や環境を維持・保全することにより両街区の共存を図ります。
- 街区の中で住宅と工場が密集して混在している地区は、共同建替えなどを誘導し、街区内での適切な再配置を促進します。
- 建物を用途ごとにまとめることや、住宅の防音・防振対策と工場周辺の緑化、荷さばきスペースの共同化などの工場敷地の有効活用により、住環境と工場の操業環境の共存を図ります。

#### <幹線道路沿い市街地>

- 幹線道路の沿道は、交通の利便性を活かした産業系施設の立地、幹線道路の騒音や振動に配慮した環境づくり、災害時の避難路や延焼遮断帯の確保などを進め、幹線道路沿いにふさわしい市街地の形成を図ります。

#### <環境維持向上型市街地>

- 現在の市街地環境を維持しつつ、道路等の公共施設の整備による住環境の向上を図ります。

### ＜防災性の向上を図る地区＞

- 木造住宅の密集した市街地は、住環境と防災面に配慮し、建物の建替えや共同化にあわせた道路整備、オープンスペースの確保、空地の緑化、近隣と調和した土地の高度利用の促進により緑と潤いのある都市づくりを推進します。

## (3) 交通体系の整備

### ＜道路ネットワークの形成＞

- 放射19号線などの都市計画道路の整備を推進し、道路ネットワークの強化を図ります。

### ＜市街地再開発事業の推進＞

- 駅前広場や関連側道の整備による道路網の形成などにより交通渋滞を解消し、地域の一体性の確保を図ります。
- 京急蒲田駅周辺は、市街地再開発事業等の推進によって駅前広場を整備し、交通結節点機能を高め、交通の利便性とにぎわい空間の確保を図ります。

### ＜羽田空港と結ぶ交通ターミナル拠点の形成＞

- 中・長期的な視点から、事業性などの検討を深度化し、東西方向の交通軸となる新空港線「蒲蒲線」の実現により、交通ネットワークの利便性の向上を図ります。

### ＜自転車駐車場等の整備＞

- 円滑な交通流動を確保するために、駅前広場等の地下空間を活用した自転車駐車場の整備とともに、民間施設と連携した積極的な誘導による駐車場の整備を推進し、放置自転車や路上駐車の解消を図ります。

## (4) 水と緑の潤いのある環境づくり

### ＜水と緑のネットワークの形成＞

- 長い間、地域に親しまれてきた呑川は、河川的环境保全と活用の在り方に十分留意しながら、呑川緑道の整備を促進し、潤いのある水と緑のネットワークの形成を図ります。

### ＜貴重な緑の保全と創出＞

- 西蒲田公園や東蒲田公園等の緑空間の保全を積極的に推進していきます。
- JR蒲田駅及び京急蒲田駅の周辺などでは、土地の高度利用とあわせて、オープンスペースの確保や緑地の創出を図ります。
- 密集市街地や住宅と工場が混在した市街地は、建物の共同化などを誘導することによって、緑の創出を図ります。

## (5) 安全・安心のまちづくりの推進

### ＜災害に強いまちづくり＞

- 環状8号線、第一京浜国道、第二京浜国道等の沿道の不燃化・耐震化を推進し、延焼遮断帯、避難路としての機能を確保します。

- 東京都の防災都市づくり推進計画で重点整備地域に指定された大森中地区（南蒲田一丁目、東蒲田一・二丁目地区）は、防災街区整備地区計画を導入し、都市基盤整備とあわせた防災活動拠点の整備や避難路の確保などを推進します。区の先駆的な防災まちづくりのモデルケースとなるよう事業を展開し、木造密集地域の防災性の向上を図ります。
- 防災対策の必要性・緊急性が高い西蒲田・蒲田地区は、不燃化・耐震化促進などにより防災性の向上を図ります。
- 東蒲田一丁目公園は、大田区総合体育館の建設にあわせて、防災拠点機能を有する公園として整備します。
- 水害に強いまちをめざして、呑川周辺の浸水対策、雨水貯留施設や浸透施設の整備などの総合的な治水対策を推進します。

## (6) 産業のまちづくり

### <国際都市おたと観光のまち>

- 羽田空港からの利便性を活かし、JR 蒲田駅及び京急蒲田駅周辺の回遊性を確保するため、公共施設等を活用した観光案内機能の強化、多言語に対応した商店看板の設置を誘導するなど商店街等を活用したアメニティの向上を図ります。

## (7) 景観づくり

### <地域特性と資源を活かした景観づくり>

- JR 蒲田駅及び京急蒲田駅周辺は、中心拠点として、にぎわいと活力を感じながら快適に過ごせる、清潔で美しい街並みづくりを推進します。
- 梅屋敷公園や旧東海道沿いなどに残る歴史的資源は、地域の風格や味わいを出すための重要な要素として街並みづくりに活用します。

## (8) 地球環境にやさしいまちづくり

### <呑川の水質改善>

- 呑川の親水性を向上させるため産・官・学が連携して、呑川の水質浄化対策に取り組みます。

### <低炭素社会の実現>

- 都市開発や大規模建築物の建設において、環境負荷の低減などへの配慮や、環境性能に優れた建築物への誘導を図ります。

# 蒲田地域 地域別構想方針図



## 4) 多摩川沿い地域

多摩川沿いの地域は、大田区の工業発祥地のひとつです。小規模でも高い技術力をもつ大田区の工業は、優秀な製品を世に送り出しています。しかし、工場跡地に大規模なマンションが建設され、大田区の定住人口の増加に寄与するものの、一方で工業力の低下を招いており、工場と住宅の調和ある共存が必要とされています。

また、多摩川の豊かな自然環境がまちに潤いを与えるとともに、河川敷はスポーツ・レクリエーションの場として利用されています。

### 1. 地域の概要と課題

#### (1) 拠点づくりの必要性

##### <地域の特性に応じた拠点づくり>

- 雑色駅周辺は、京浜急行線と道路の平面交差により交通が遮断され、市街地が分断されています。また、土地が細分化され、駅前にふさわしい土地としての有効利用がなされていません。京浜急行線の連続立体交差事業を契機として駅前広場や駅へ連絡する道路の整備など、安全でにぎわいのある地域の拠点づくりが求められています。
- そのほかの私鉄駅周辺の商業地は、日常生活のサービスの提供やにぎわいの場を形成していますが、快適性という点では十分とは言えません。近隣住民の日常生活を支えるまちの生活拠点として、利便性等の向上が課題となっています。

#### (2) 市街地環境の改善

##### <産業のまちを形成してきた工場群>

- 日本の工業の一翼を担い、生き活きとした産業のまちを形成してきた歴史をもつこの地域は、ほとんどが工業系の用途地域に指定されています。
- 多摩川沿いの地域の工場群は、矢口・下丸子では精密加工業が集まり、多摩川・西六郷では機械金属加工業が多く、更に東六郷・南六郷・本羽田では機械加工業が集積しています。
- 地域内に集積する高度な技術力を有する工場の観光資源化を図ることが課題です。

##### <住工混在市街地における環境の改善>

- 工業地域では、大規模工場の操業停止や転出により生じた工業跡地へのマンションの立地が進んでいます。準工業地域では、中小工場が分布し、住宅と混在した市街地が形成されています。住環境に配慮しつつ、工場の操業環境を維持することが課題となっています。

#### (3) 交通体系の改善

##### <都市計画道路の整備>

- 幹線道路の拡幅や補助41号線、43号線の整備が遅れていることから、交通渋滞が発生し、円滑な交通流動が確保されていません。これら幹線道路等の早期整備が求められます。

**<京浜急行線の連続立体交差事業に伴う都市基盤整備の推進>**

- 交通の利便性を更に高めるため、京浜急行線の連続立体交差事業を契機とした雑色駅周辺の都市基盤整備の進め方が検討されています。

**<公共交通体系の改善>**

- 地域住民の重要な移動手段となる公共交通については、より円滑で利便性の高いネットワークの整備が求められています。
- 空港の持つ輸送機能、交流機能を工業に活かす視点から、羽田空港の活用が期待されています。工業集積地と羽田空港の接続性を向上させるため、交通ネットワークの充実が課題となっています。

**(4) 快適な環境づくりの課題**

**<ユニバーサルデザインによる河川空間づくり>**

- 多摩川は、密集した市街地が広がる地域にとって、潤いと安らぎを与える貴重なオープンスペースです。レクリエーションの場や自然と親しむ憩いの場などとして、高齢者や障がい者、子育て中の親など誰もが容易に利用できるような空間づくりが課題となっています。

**<川の自然や景観を活かしたまちづくり>**

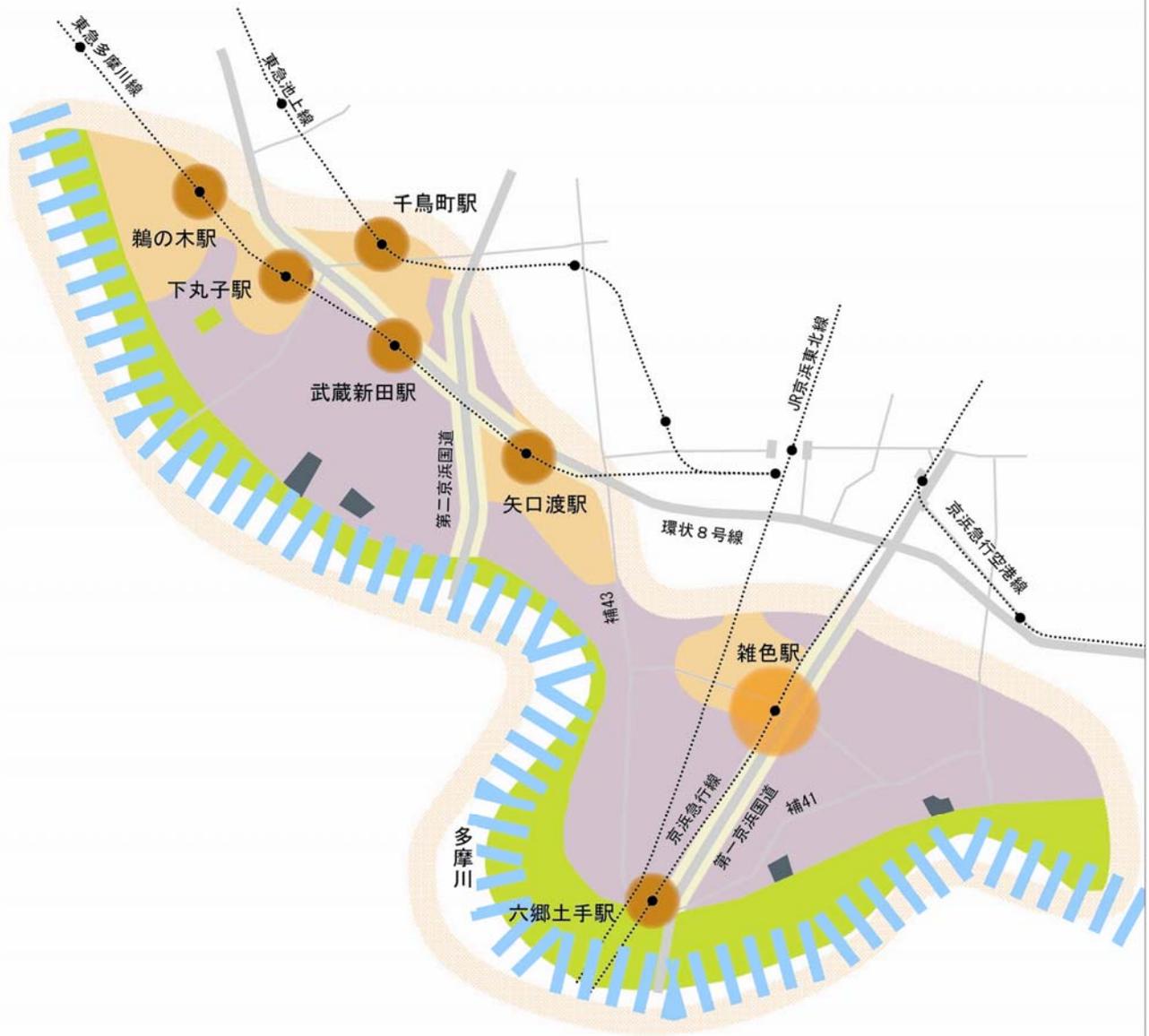
- 潤いのあるまちづくりを進めるために、多摩川の豊かな自然環境や景観を活かしたまちづくりが課題となっています。

**(5) 安全・安心のまちづくりの課題**

**<災害に強い市街地環境への改善>**

- 多摩川沿いに広がる低地部は、密集した市街地が広がり、工場と住宅の混在やオープンスペースの不足など、災害に脆弱な市街地構造を持っていることから、防災性に配慮した市街地環境の改善が課題となっています。

# 多摩川沿い地域 地域課題図



## 凡 例

- 地域の特性に応じた拠点づくりが求められる地区
- 環境の維持向上が求められる区域
- 住工調和のあり方が課題となっている区域
- 幹線道路沿道市街地の整備が必要な区域
- 広域的都市施設
- 主な公園、緑地

- 幹線道路
- 補助幹線道路
- 公共交通（鉄道）

0 1000m

## 2. 地域別整備方針

まちの将来像：

水辺の環境を活かした工業と住宅の調和したまち

### (1) 魅力あるまちづくり拠点の形成

#### <魅力ある地域のまちづくり拠点の形成>

- 雑色駅周辺は、京浜急行線の連続立体交差事業を契機とした、駅前の道路や広場の整備、土地の有効利用などを、ユニバーサルデザインの視点で空間づくりを進め、魅力ある地域のまちづくり拠点の形成を図ります。

#### <地区に密着した生活拠点の形成>

- 下丸子駅、武蔵新田駅などの駅周辺は、買物通りの整備や自転車駐車場整備などにより、商店街の活性化を促進し、地区に密着した生活拠点の形成を図ります。

### (2) 地域の特徴を活かした市街地の形成

#### <住工調和型市街地>

- 戦前から日本の工業を先導してきた工場が集積するこの地域の発展のために、ものづくり産業が生き活きと活動できるように、工場と住宅が共存・調和するまちづくりを推進します。
- 大規模な工場の街区と大規模なマンションの街区が混在する地区は、道路整備のなかで、産業交通と生活交通の円滑な交通機能を確認することや緑化などにより、住宅と工場の共存を図ります。
- 中小規模の工場と住宅が混在する街区は、共同建替えの誘導や、街区内で工場と住宅を再配置し、建物を用途ごとにまとめることにより、住環境と工場の操業環境の共存を図ります。
- 住宅や工場の防音・防振対策や工場周辺の緑化、荷さばきスペースの共同化等、工場の敷地の有効活用を図ります。

#### <幹線道路沿い市街地>

- 幹線道路の沿道は、交通の利便性を活かした産業系施設の立地、幹線道路の騒音や振動に配慮した環境づくり、災害時の避難路や延焼遮断帯の確保などを進め、幹線道路沿いにふさわしい市街地の形成を図ります。

#### <環境維持向上型市街地>

- 現在の市街地環境を維持しつつ、道路等の公共施設の整備による住環境の向上を図ります。

### (3) 交通体系の整備

#### <道路ネットワークの形成>

- 補助41号線と43号線の整備や、そのほかの補助幹線道路や駅前広場等について整備を促進し、道路ネットワークの形成を図ります。

- 整備に際しては、歩道の整備や歩行者スペースの確保などにより、通勤時間帯の歩行者による混雑を緩和し、高齢者や障がい者、子育て中の親など誰もが安心して利用できるみちづくりに努めます。

#### ＜再開発事業の推進＞

- 雑色駅周辺は、再開発事業など多様なまちづくり手法を検討しながら、土地の有効利用を図ります。更に駅前広場を整備し、交通の利便性の確保を図ります。

#### ＜公共交通体系の充実＞

- 地域間や区内各方面への利便性向上のため、バスサービス等の更なる充実を図ります。
- 中・長期的な視点から、事業性などの検討を深度化し、区の東西方向の交通軸となる新空港線「蒲蒲線」の実現により、東急多摩川線沿線地域と、羽田空港や空港周辺の地域との連絡の強化を図ります。

### (4) 水と緑の潤いのある環境づくり

#### ＜親しみやすい多摩川に＞

- 堤防沿いの並木の植栽などによって、河川空間を活かした水と緑のネットワークづくりを推進し、潤いと憩いの場の形成を図ります。
- 人工的な施設整備を避けて自然のままの河川形態を維持することにより、多摩川に生息する貴重な小動物や自然植生の保護育成に努めます。

#### ＜多様化する要望に対応した河川敷の利用＞

- 国の多摩川河川環境管理計画に基づき、多摩川の自然を損なわないように配慮しながら、区民にふれあいの場を提供する貴重なオープンスペースとして河川敷を活用していきます。
- 区民の要望の多様化やユニバーサルデザインへの配慮など、散策や親水空間づくりについて、よりの確に対応するように国と協議していきます。

#### ＜水と緑のネットワークの形成＞

- まちのシンボルとなっている多摩川沿いに、河川敷のレクリエーション施設と一体的に水と緑のネットワークの形成を図ります。

### (5) 安全・安心のまちづくりの推進

#### ＜災害に強いまちづくり＞

- 環状8号線、第一京浜国道、第二京浜国道等の沿道の不燃化・耐震化を推進し、延焼遮断帯、避難路としての機能を確保します。
- 多摩川沿いは、地震や洪水に対する安全性の向上を図るために、長期的な視点から周辺市街地の整備にあわせた総合的な治水対策を推進します。
- 水害に強いまちをめざして、多摩川周辺市街地の雨水貯留施設や浸透施設整備などの総合的な治水対策を推進します。

(6)産業のまちづくり

＜工場と住宅の調和ある土地利用の実現＞

- 工業系土地利用の地域に立地する工場が存続し発展していくために、工業関連機能の充実と土地の有効利用を図り、周辺環境に配慮しながら地域住民と共存できるまちづくりを推進します。

＜観光資源としてのものづくり産業＞

- 地域内に集積する、大田のものづくり産業の代表となるような工場を産業観光の拠点として施設整備を図るため支援を進めます。

(7)景観づくり

＜多摩川を活かした景観づくり＞

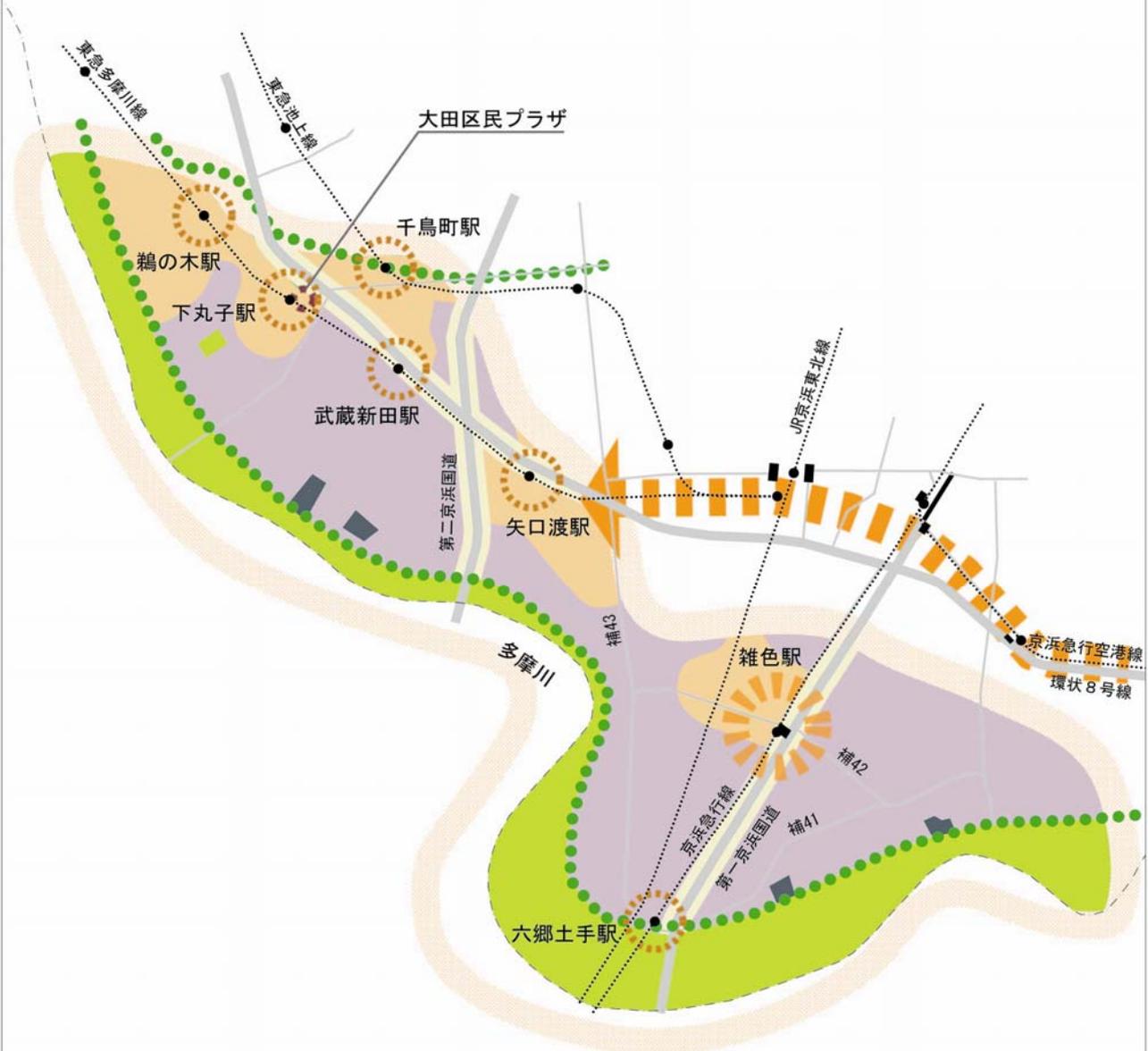
- 多摩川は、関係機関との協力のもと良好な河川景観を維持・保全します。
- 多摩川沿いの市街地は、河川景観と調和した潤いのある街並みづくりを進めます。

(8)地球環境にやさしいまちづくり

＜低炭素社会の実現＞

- 住宅や工場などの建物更新にあわせて、再生可能エネルギーの活用や緑化の推進により、環境負荷の軽減に配慮した都市空間の形成を図ります。

# 多摩川沿い地域 地域別構想方針図



## 凡 例

- |   |            |   |            |
|---|------------|---|------------|
|  | 地域のまちづくり拠点 |  | 環境維持向上型市街地 |
|  | 地区の生活拠点    |  | 住工調和型市街地   |
|  | 歴史・文化の拠点   |  | 幹線道路沿い市街地  |
|  | 水と緑のネットワーク |  | 広域的都市施設    |
|  | 幹線道路       |  | 主な公園、緑地    |
|  | 補助幹線道路     |   |            |
|  | 公共交通（鉄道）   |   |            |
|  | 新空港線「蒲蒲線」  |   |            |

0 1000m